

お母さんの口ぐせ

田沢小学校三年 かみじきあおい

「さいごの一つぶまで、きれいに食べなさい。」これは、ごはんの時のお母さんの口ぐせです。わたしは食べるのがおそいため、ごはんが終わるころにはごはんつぶが茶わんのそこにかわいてくっついてしまいます。それをはしでつまむのが面どうくさくて、ついそのままかた付けようとすると、その言葉を言われるのです。

ある時どうして、いつもその言葉を言うのか、お母さんに聞いてみました。すると、お母さんは、わたしと同じくらいの時におばあちゃんから聞いた話をしてくれました。

お母さんのおばあちゃんが、せんそう中の話です。せんそう中はいろいろな物が少なくなり、足りなくなりました。とくにお米がなかったそうです。それで、少しのお米に、麦やさつまいもを入れたごはんや、ぞうすいを食べていたということです。それでも、お

なかいっばいは食べられず、「白いごはんを
おなかいっばい食べたい」と、みんな思っ
いたということでした。お母さんは、「せん
そう中の人たちの苦ろうを考えると、ごはん
一つぶもそまつにできない」と思、たそうで
す。

あたしは、この話を聞いて、せんそう中は
お米がどれだけ大切だったかということをは
いめて知りました。今は生活がゆたかになっ
て、スーパーにはたくさんのお米がならんで
います。でも、いろいろなことを知って、今
の生活が当たり前だと思わないことが大事だ
と思いました。

今年の夏休み、あたしは、お米とぎの手伝
いをしていきます。お米をカップに入れてボウ
ルにうつす時やとぎいるをすてる時に、うっ
かり米つぶをこぼしそうになりますか、しん
重に気を付けています。そして、おなかいっ
ばい食べられることに感しゃしながら、さい
ごの一つぶまで大切に食べています。